



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月12日

上場会社名 株式会社PR TIMES 上場取引所 東
コード番号 3922 URL https://prtimes.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 拓己
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 PR・HR本部長 (氏名) 三島 映拓 TEL 03-5770-7888
四半期報告書提出予定日 2023年10月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	3,284	16.7	890	△2.8	890	△2.7	600	4.2
2023年2月期第2四半期	2,814	22.5	916	2.2	915	2.2	576	△6.6

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 601百万円 (4.2%) 2023年2月期第2四半期 576百万円 (△6.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	44.86	44.38
2023年2月期第2四半期	42.96	42.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第2四半期	6,149	5,063	82.3	377.32
2023年2月期	5,265	4,466	84.8	333.01

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 5,061百万円 2023年2月期 4,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,650	16.5	1,500	26.0	1,472	23.8	1,004	29.1	74.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	13,457,200株	2023年2月期	13,457,200株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	43,627株	2023年2月期	46,904株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	13,397,733株	2023年2月期2Q	13,429,341株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2023年10月12日（木）に当社ウェブサイトに掲載予定であります。また、同日に機関投資家・アナリスト向けに四半期決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年3月1日～2023年8月31日）の当社グループにおきましては、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」というミッションを実現するため、引き続き主力事業であるプレスリリース配信サービス「PR TIMES」の基盤強化、SaaS型ビジネス向けツールの「Jooto」及び「Tayori」の事業成長に向けた活動を中心に認知度向上並びに新たな顧客層の獲得を目指してまいりました。

「PR TIMES」の利用企業社数は87,316社（前年同期比19.9%増）に達し、国内上場企業のうち55.6%の企業にご利用いただいております。プレスリリース件数は2023年3月に過去最高となる月間33,801件を記録いたしました。また、プレスリリース素材となる画像の掲載数は3月に過去最高となる月間182,183点、動画の掲載数は4月に過去最高水準に近い月間2,811点となり、プレスリリースのリッチコンテンツ化も進んでおります。加えて、配信先媒体数は10,781媒体、メディアユーザー数は25,953名、パートナーメディア数は247媒体となり、プレスリリースの月間サイト閲覧数は8月に過去最高の8,984万PVを記録いたしました。

タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」は有料利用企業社数を、カスタマーサポートツール「Tayori」は有料アカウント数を重要指標として利用拡大及びサービス向上に取り組んでまいりました。その結果、「Jooto」の有料利用企業社数は1,853社（前年同期比0.5%増）、「Tayori」の有料アカウント数は1,004アカウント（前年同期比28.2%増）となりました。両サービスとも売上高への影響は限定的で、未だ投資フェーズが続いております。なお、「Jooto」は第1四半期連結会計期間において提供プランの統廃合を実施したことにより、前連結会計年度末に比べ一時的に有料利用企業社数が減少しております。

また、2023年3月31日付で株式会社グルコース（以下、「グルコース」という。）の全株式を取得し連結子会社化いたしました。グルコースはサービス開発力を特徴とするエンジニア集団で、Webやソーシャルメディア、モバイルアプリ領域に関するソリューションの提供とプロトタイプ構築を特に得意としており、メディア企業・スタートアップなどWebサービスの開発力を重視する顧客や、シンクタンク・研究機関など技術と実績を評価する顧客に対し、受託開発やコンサルティングを行っております。グルコースが当社グループに加わることにより、当社グループの顧客基盤とネットワーク、グルコースのプロトタイプ構築・サービス開発力を掛け合わせ、新規プロダクト受託開発事業を開始し「行動者」の想いをカタチにして、プロダクト開発からPRまで一気通貫で支援してまいりたいと考えております。また、当社グループのプロダクトの内製化を促進することで、目的意識が揃いやすくなり開発実装のスピードとクオリティーが向上し、事業成長に寄与することを期待しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,284,368千円（前年同期比16.7%増）、営業利益は890,638千円（前年同期比2.8%減）、経常利益は890,433千円（前年同期比2.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は600,992千円（前年同期比4.2%増）となりました。

当社グループは、従来「プレスリリース配信事業」のみの単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間より、グルコースの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム開発事業を「その他」の区分としてセグメント情報を開示しております。なお、当社グループの報告セグメントにおける「プレスリリース配信事業」の比率が極めて高く、上記の事業全体に係る記載内容と概ね同一と考えられるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ883,782千円増加し、6,149,150千円となりました。

流動資産におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、5,025,421千円と前連結会計年度末に比べ583,957千円の増加となりました。これは、現金及び預金の増加175,582千円、その他の増加325,967千円が主な要因となります。

固定資産におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、1,123,729千円と前連結会計年度末に比べ299,824千円の増加となりました。これは、無形固定資産の増加217,680千円、投資その他の資産の増加89,280千円が主な要因となります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ286,867千円増加し、1,085,720千円となりました。

流動負債におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、1,080,709千円と前連結会計年度末に比べ281,961千円の増加となりました。これは、未払法人税等の増加255,362千円が主な要因となります。

固定負債におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、5,010千円と前連結会計年度末に比べ4,906千円の増加となりました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ596,915千円増加し、5,063,430千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加600,992千円が主な要因となります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,871,122千円と前連結会計年度末に比べ175,582千円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は620,042千円（前年同期は534,271千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益890,433千円、未払金の減少額133,015千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は409,304千円（前年同期は96,427千円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出117,841千円、投資有価証券の取得による支出50,000千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出192,541千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は35,155千円（前年同期は73,166千円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出36,580千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月13日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,695,539	3,871,122
受取手形、売掛金及び契約資産	654,379	733,113
その他	124,889	450,856
貸倒引当金	△33,343	△29,670
流動資産合計	4,441,463	5,025,421
固定資産		
有形固定資産	254,737	247,602
無形固定資産		
のれん	—	141,939
その他	212,339	288,080
無形固定資産合計	212,339	430,019
投資その他の資産	356,826	446,107
固定資産合計	823,904	1,123,729
資産合計	5,265,368	6,149,150
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,192	61,798
未払法人税等	54,602	309,964
契約負債	240,137	326,020
賞与引当金	39,865	47,065
株主優待引当金	14,060	—
その他	392,890	335,860
流動負債合計	798,748	1,080,709
固定負債		
その他	104	5,010
固定負債合計	104	5,010
負債合計	798,852	1,085,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	420,660	420,660
資本剰余金	395,660	395,660
利益剰余金	3,764,178	4,343,528
自己株式	△114,725	△98,654
株主資本合計	4,465,774	5,061,194
新株予約権	191	1,657
非支配株主持分	549	577
純資産合計	4,466,515	5,063,430
負債純資産合計	5,265,368	6,149,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	2,814,282	3,284,368
売上原価	316,809	426,478
売上総利益	2,497,473	2,857,890
販売費及び一般管理費	1,581,081	1,967,252
営業利益	916,391	890,638
営業外収益		
受取利息	0	0
償却債権取立益	479	535
その他	13	267
営業外収益合計	492	802
営業外費用		
支払利息	414	328
出資金運用損	914	494
その他	228	184
営業外費用合計	1,556	1,007
経常利益	915,326	890,433
特別損失		
投資有価証券評価損	49,399	—
特別損失合計	49,399	—
税金等調整前四半期純利益	865,926	890,433
法人税等	289,041	289,412
四半期純利益	576,885	601,021
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	576,891	600,992

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	576,885	601,021
四半期包括利益	576,885	601,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	576,891	600,992
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	865,926	890,433
減価償却費	41,957	49,210
のれん償却額	—	12,903
投資有価証券評価損益 (△は益)	49,399	—
出資金運用損益 (△は益)	914	494
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	807	△3,673
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△37,700	7,200
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△8,990	△14,060
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	414	328
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△60,322	△41,860
仕入債務の増減額 (△は減少)	△966	4,539
未払金の増減額 (△は減少)	54,762	△133,015
契約負債の増減額 (△は減少)	49,447	85,883
その他	△31,184	△194,486
小計	924,467	663,897
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△414	△328
法人税等の支払額	△389,781	△43,526
営業活動によるキャッシュ・フロー	534,271	620,042
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,587	△8,651
無形固定資産の取得による支出	△27,203	△117,841
投資有価証券の取得による支出	△99,399	△50,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△270
敷金及び保証金の回収による収入	75,263	—
出資金の払込による支出	△12,500	△40,000
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	—	△192,541
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,427	△409,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,771	△1,295
自己株式の取得による支出	△74,631	△36,580
新株予約権の発行による収入	—	1,563
新株予約権の行使による 自己株式の処分による収入	3,236	1,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,166	△35,155
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	364,677	175,582
現金及び現金同等物の期首残高	3,344,256	3,695,539
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,708,933	3,871,122

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月22日開催の取締役会決議に基づき、自己株式20,000株の取得を行いました。また、2023年6月9日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式21,277株の処分を行うとともに、ストック・オプションの行使による自己株式2,000株の処分を行いました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が21,642千円減少、自己株式が16,070千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が4,343,528千円、自己株式が98,654千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社グルコースの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

2023年5月29日に国税庁は信託型ストックオプションの税務上の取り扱いについて、「行使時の経済的利益は、給与として課税される」旨の見解を示しました。

当社が発行する新株予約権において、第4回及び第6回新株予約権が信託型ストックオプションに該当しております。このうち、第4回新株予約権については、権利行使期間が到来しており、権利行使をした者に対する源泉徴収義務は当社にあることから、当第2四半期連結会計期間において、源泉所得税の納付を実施いたしました。また、第6回新株予約権については、権利行使期間が到来しておらず、2023年7月13日開催の取締役会決議に基づき、消滅いたしました。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	プレスリリース配信事業				
売上高					
「PR TIMES」及び「PR TIMES」関連サービス	2,752,270	—	2,752,270	—	2,752,270
ビジネス向けSaaSサービス	62,012	—	62,012	—	62,012
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,814,282	—	2,814,282	—	2,814,282
外部顧客への売上高	2,814,282	—	2,814,282	—	2,814,282
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,814,282	—	2,814,282	—	2,814,282
セグメント利益	916,391	—	916,391	—	916,391

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレスリリース 配信事業				
売上高					
「PR TIMES」及び「PR TIMES」 関連サービス	3,131,319	—	3,131,319	—	3,131,319
ビジネス向けSaaSサービス	93,177	—	93,177	—	93,177
その他	—	59,871	59,871	—	59,871
顧客との契約から生じる収益	3,224,496	59,871	3,284,368	—	3,284,368
外部顧客への売上高	3,224,496	59,871	3,284,368	—	3,284,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26,412	26,412	△26,412	—
計	3,224,496	86,283	3,310,780	△26,412	3,284,368
セグメント利益又は損失(△)	905,761	△15,123	890,638	—	890,638

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、株式会社グルコースの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「その他」の区分において244,256千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「プレスリリース配信事業」のみの単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間より、株式会社グルコースの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム開発事業を「その他」の区分としてセグメント情報を開示しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社グルコースの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことにより、「その他」の区分において、のれんが141,939千円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。